

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エンジョイ松阪		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「遊戯室」「活動室」「運動室」と活動スペースを分ける事で、子どもたちにとって分かりやすく構造化された環境になっている。	お子様にとって分かりやすいよう、写真やイラストを活用し、スケジュールを提示している。 また、グループに分かれ部屋を移動する事で、出来る限りの安全の確保を行っている。	より、一人一人のお子様に合わせて環境を提供できるよう、検討していく。
2	保護者様と事業所間でお子様の状況を伝え合い、共通理解が出来ている。 (お迎え時のお話や、公式LINE、HUGを活用した様子のお伝え) また、参観ウィークを設け、事業所での様子も保護者様に見て頂いている。	出来た事も難しかった事も、保護者様にお伝えする。 お迎え時等、ありのままのお子様の姿を見て頂けるよう、玄関から活動スペースを見れるようにしている。	保護者様のニーズを確認しながら、参観可能な日を増やしたり、面談の機会を増やしていく。
3	専門性を高める為の社内研修への参加や事例検討会を行う事で、一人一人のお子様に向けた対応を様々な視点で考える事が出来る。	研修への参加がしづらい場合でも学ぶ機会が減らないように、オンラインでの参加や動画視聴が出来る仕組みをつくっている。	スタッフが研修等に参加しやすい環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会、保護者会、保護者様同士の交流等の家族支援の実施。 きょうだい向けのイベント、きょうだい同士の交流等のきょうだい支援の実施。	年に1度の保護者会のみ開催になっており、その他ご家族様やごきょうだい様のニーズを確認出来ていない。	保護者様とお話しできる機会やフォームでのアンケートをとり、ニーズの確認をする。
2	保育所、認定こども園、幼稚園等との交流、その他地域で他の子どもと活動する機会。	昨年開所し、利用開始から日が浅いお子様も多いことから、事業所に慣れることや、安定して通所する事を優先している。	園への送迎時等の連携の中で協力を図り、実現に向け、コミュニケーションをとっていく。
3	ペアレントトレーニング等、ご家族様が参加できる研修会や情報提供の機会。	ご家族様のニーズが確認できていない。	どのような形で行うのか、どのような内容なのか等検討し、実現を目指す。